

NPO法人ラブ・ネイチャーズ

奥浜名湖の貴重な生き物に寄り添う

🌈 取組概要

- 奥浜名湖周辺には、シラタマホシクサやヒメマイトトンボといった、貴重な生き物が生息しており、環境保全が課題となっています。
- 絶滅危惧種のシラタマホシクサを守るため、湿地の整備を行ったり、未来へ引き継ぐための種蒔きや見守りを24年間続け、貴重な自然環境を守っています。
- 県内では都田川にだけ生息しているヒメマイトトンボの生息調査・啓発活動を19年間続け、地域全体で環境を守る意識を高めています。



🌈 はじめたきっかけ

浜名湖花博のボランティアリーダーの中から自然環境に関心をもつ会員が中核となり、2001年に団体を立ち上げました。会員全員が自然系の有資格者で、得意分野において個々に主体性をもって活動しています。

🌈 ポイント

貴重な生き物たちが生息する環境を守るため、20年以上にわたり環境保全や啓発の活動をしています。環境講座やパネル展示などを通じ、地域住民や企業に貴重な自然に対する関心を根付かせることに取り組んでいます。会員の活動は、団体の情報としてネットで全員が共有協力し、幅広い行動を伴う啓発活動を継続しています。

🌈 地域課題と取組成果

銅鐸公園では、シラタマホシクサの保全に取り組んだ結果、以前はあまり訪れる人も多くはない公園でしたが、最近はシラタマホシクサを懐かしみ、リピーター含め遠方から訪れる人が絶えない明るい公園になり、活性化につながっています。ヒメマイトトンボは、5年間生息が確認できませんでしたが、環境の保全と調査を続けた結果、2020年の調査で生息が確認でき、以降少数ですが生息が確認できています。

- 事業内容 シラタマホシクサの保護保全・子ども自然学校の企画運営・自然体験講座の企画運営
- 設立年 2001年
- 会員数 17名